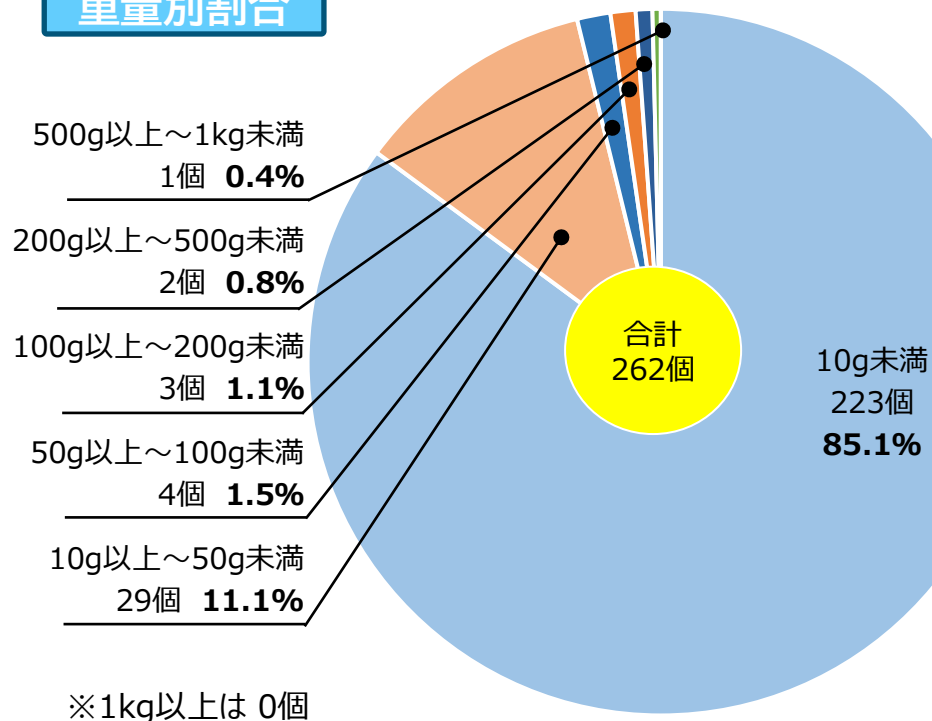


2025年4月～2025年5月における部品欠落の重量別・部品別割合

- 部品欠落の報告制度により、羽田空港を含む7空港において2025年4月～2025年5月に報告された欠落部品の総計は262個であり、そのほとんどは50g未満、約8割が10g未満である。（前年度同期間は206個）
- また、欠落部品の多数を占める10g未満の部品についても、各航空会社において、落下物防止対策基準に従って、欠落事例を分析し必要な再発防止策が進められている。

重量別割合



部品欠落の例



リベット（留め具）

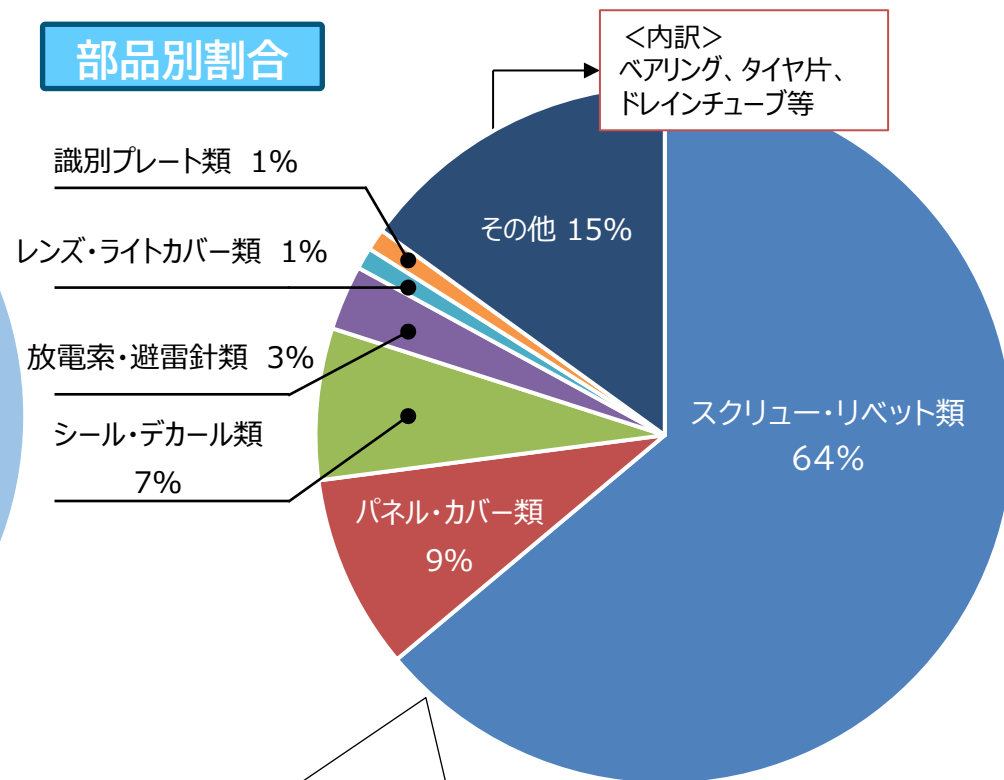


シール



スタティックディスチャージャー（放電索）

部品別割合



- 部品欠落報告の約6割はスクリー、リベット等の留め具であり、重さは1g～40g程度
- パネル類の材質は複合材等、カバー類はプラスチック等であり、重さは2g～800g程度
- シール、デカル類の材質はアルミニウム、プラスチック等であり、重さは1g～350g程度
- 放電索、避雷針類の材質はアルミニウム、複合材等であり、重さは5g～20g程度
- レンズ、ライトカバー類の材質はガラスであり、重さは10g程度
- 識別プレート類の材質はアルミニウムであり、重さは1g程度